

せいじの

平成26年2月

143号

青磁野リハビリテーション病院
 せいじの健診センター
 介護老人保健施設 青翔苑
 グループホーム あおばの家
 地域介護相談センター けあまっぶ城西
 訪問看護ステーション城西
 せいじのヘルパーステーション
 サービス付き高齢者向け住宅 ファインテラスせいじの
 熊本市西2地域包括支援センター

ご挨拶



医療法人金澤会
 理事長 金澤 知徳

みなさんのお正月はいかがでしたか。今年は年末から天候も回復し本当に穏やかなお正月となりました。例年、お正月休みと言っても何となく慌ただしく過ぎていくものですが、今年もやはりそうでした。しかし、アレコレとため込んだ無駄なものを思い切って捨てることで一年間を締めくくり、新しい年に向かうことは何かサッパリして、気持ちの良いものでした。

さて、今年のお正月は2日から阿蘇に行きました。私は一の宮の阿蘇神社はよく行くのですが、三が日に行くのは数回目です。阿蘇神社の楼門は日本三大楼門の一つと云われるほど荘厳な佇まいであり、参拝する人々を大きく包み込み、静かに迎え入れていました。社殿も幅広く、20人ほどの列に並んでの参拝でしたが、肅々と進み、当然ですが誰一人文句を言うことなく譲り合い、落ち着いて手を合せていました。

お参りしたあとに横参道に並ぶ門前町をブラツキましたが、駐車場の管理も含めて、地元の若者の参拝客への気配りと、不慣れな中にも一生懸命に対応しようとする姿に清々しさを感じたものでした。何事も一生懸命することは本当に気持ちいいものですね。

さて、本年4月には消費税の増税や診療報酬の見直しが行われ、更に厳しい法人運営管理が求められることとなりますが、私たちの使命を見誤ることなく、一生懸命に努めていこうと思います。

最後になりますが、皆様方の本年のご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。何卒よろしく願いいたします。



青磁野リハビリテーション病院
 院長 金澤 親良

年末から伊勢神宮を参拝してきました。遷宮の年で大勢の参拝者でしたが、圧倒されたのは境内の木々の大きさでした。見上げると木々のざわめきが何か語りかけてくるようで、歴史の重みを感じました。新旧の本宮が並び荘厳でしたが、古い建物には命があり、新しい方はまだ建築物といった印象でした。帰りのフェリーで海から初日の出を見ることができ、気持ちも新たに新年を迎えることができました。

今年は医療制度の改変があり慌ただしい年になりそうですが、これまでと変わることなく地域の皆さまに必要とされる医療機関であることを基本理念として、職員全員で努力していきつくりたいです。

IT社会になり簡単に知識や情報が手に入る時代ですが、本当に信じられる大切なものは自分が努力して得たものであり、忘れてはいけないことは人と人とのつながりであると思います。私たちが医療、介護という分野で少しでもお役にたてれば幸いです。

● 金澤会理念 ●

私たちは、社会から信頼され必要とされる医療と福祉の実現を目指します

● 基本方針（3本柱） ●

1. 医療（メディカル・ケア）

内科・整形外科・リハビリテーション医療の病院として、質の高い医療サービスをご提供します

2. 福祉（ソーシャル・ライフ・ケア）

施設内及び在宅の障害者、高齢者の生活の自立を支援すると共に、医療、福祉に関する様々なご相談にお応えします

3. 健康（ヘルス・プロモーション）

人間ドック、健康診断、企業健診を通して、地域の皆様の健康づくりを支援します

予防的視点に目を向ける 「糖尿病チーム」活動中



今年度、5月に誕生した専門チームです。初めは医師2名、看護部長、病棟師長2名、臨床栄養科主任、薬剤管理科長、理学療法士でスタートし、まずは方向性固めと基盤づくりを行いました。10月からは、各部署代表からなる実践チームが引き続き活動を推進しています。

このチームの目的は、専門職が集まり、糖尿病をはじめとして循環器や代謝疾患などの治療のみでなく、予防的視点に目を向けるようにするための枠組みを作り上げていくことです。

糖尿病とフットケア

糖尿病で血糖値が高い状態が続くと、神経障害や動脈硬化などによる血流障害が起こりやすくなります。神経障害があると痛みを感じにくくなるため、ケガや火傷に気がつかずに悪化させてしまうことがあります。また、足先の血流が悪くなることで細胞が必要とする酸素が十分に運ばれず傷の治りが遅くなったり、身体の抵抗力が低下することで傷口が化膿しやすくなったりします。適切な処置をせずに放っておくと、潰瘍や壊疽を起こしやすくなり、足切断という結果を招く危険性もあります。


日常生活で足に気を使うことはあまり多くありませんが、糖尿病があると足の手入れと早期発見、早期対処が非常に重要なのです。

具体的な内容としては、患者さん向け糖尿病教室の充実、糖尿病療養指導士の育成、フットケアの推進などに取り組むほか、初期から介入するために糖尿病患者カンファレンスにも参加しています。

「糖尿病のことは糖尿病チームに聞けば大丈夫！」と言われるようにチーム全体で頑張ります。何かありましたらお声かけください。

毎日のフットケア

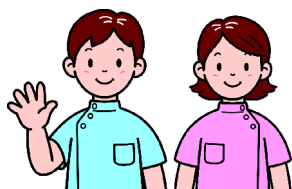


- 毎日、足を洗い、水分をよくふき取り、清潔に保ちましょう
- 毎日、足の変化を観察しましょう
うおのめ、たこ、皮膚の乾燥、ひび割れ、靴ずれ、傷、腫れ、皮膚の色の変化はありませんか？
足の裏や指の間も目で見て、触って確認しましょう。
- 爪は、爪の先がまっすぐになるように切り、深爪しないようにしましょう 
- 自分の足に合った靴を履きましょう
- はだしで歩かず、清潔な靴下を履きましょう
- ケガに注意しましょう
- 爪切りや観察は、ご家族など他の方にも協力してもらいましょう
- 足に異変が出たら、放置せずにすぐに受診しましょう

ご自宅でのリハビリで生活の自立をサポート 訪問リハビリテーション

医療法人金澤会の訪問リハセンターについて

訪問リハセンターには、経験年数5年以上の理学療法士3名、作業療法士3名、言語聴覚士2名が所属しています。それぞれが青磁野リハビリテーション病院と訪問看護ステーション城西の2事業所に登録しており、かかりつけ医の指示のもと、ご自宅での生活をサポートしています。



どういことをするの？

退院直後の方や自宅療養を続けられているご利用者に対し、心身の機能回復を図り、日常生活の自立を支援するために、ご利用者の自宅で理学療法、作業療法、言語聴覚療法を行います。

基本動作や生活機能の障害、嚥下障害やコミュニケーション障がいに対するアプローチ、日常生活での工夫、ご家族に対する介助や介護方法の指導、福祉用具や住宅改造についてのアドバイスも行っています。

ご利用者の状態により、医療保険、介護保険で対応できますので、お気軽にご相談ください。

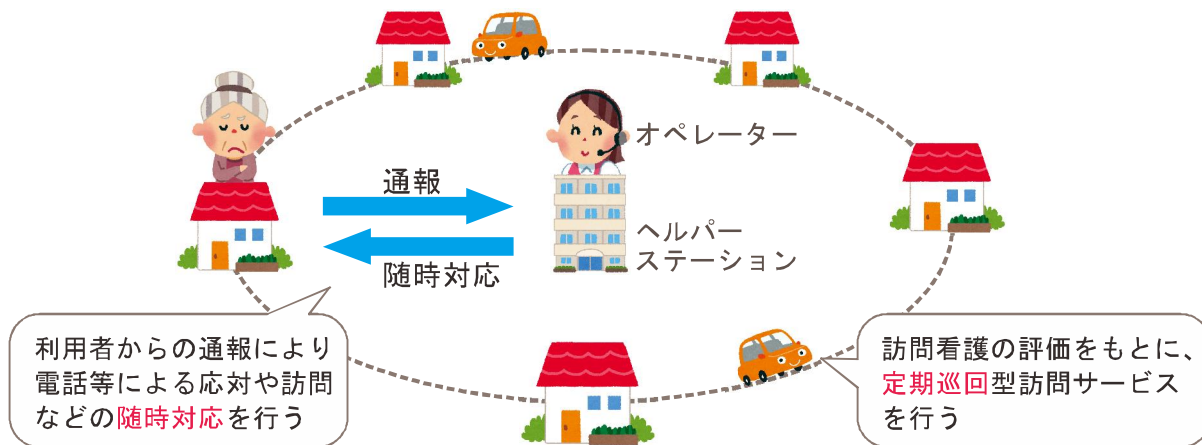
新事業がはじまりました 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

平成25年11月より、せいじのヘルパーステーションが新しい事業の指定を受けました。
『定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業』は、平成24年4月に新設されたサービスで、熊本市では本年度から5か所（各区1か所）で事業が始まっています。

要介護高齢者の在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が密接に連携しながら、定期巡回訪問と随時の対応を行います。

【サービス内容】

- ・看護師が看護の視点で在宅療養の評価を行います
- ・1日複数回ヘルパー等が利用者宅を訪問し排泄や服薬介助などの日常生活上のケアを行います
- ・利用者からの通報に24時間いつでもオペレーターが応答し、相談対応やサービスの手配を行います
- ・オペレーターの要請に応じて、ヘルパーや連携する訪問看護師が随時訪問します



クローズアップ！

～せいじのヘルパーステーション 編～

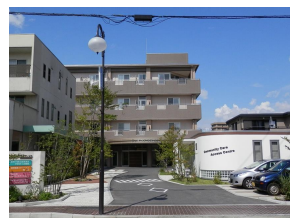
せいじのヘルパーステーションは、平成6年12月から熊本市の委託を受け、ホームヘルプサービスを開始しています。平成12年4月から介護保険事業の指定を受け、市委託サービスと介護保険サービスを行っています。

そのほか、障がい者の方や産後の方へのサービスも行っています。

現在、38名の登録ヘルパーと8名のサービス提供責任者で24時間365日の体制をとり、ご利用の皆さまの在宅生活を支えるため、また、ご家族の介護負担軽減のために頑張っています。

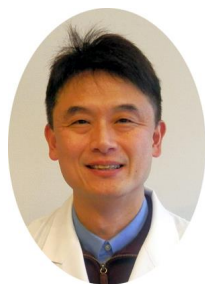
在宅生活を支えるうえで重要なのは、信頼関係、そしてご利用者の変化を見逃さないことだと思っています。

(せいじのヘルパーステーション 主任 西山智恵美)



事務所は、サービス付き高齢者向け住宅「ファインテラスせいじの」の1階にあります。

地域連携ドクター紹介



しまさきバス通り 総合内科クリニック 院長 田淵 博孝先生

平成25年10月に橋口医院より
承継開業させていただきました。

島崎バス通りの消防署の真向かいにあります。

現在、前院長の橋口明丕先生と二人で外来診療
をしています。(名にし負はば)曖昧な総合内科と
謳っております通り、肩の力の抜けた内科診療を
目標としています。当院のイメージカラーのオー
レンジはお隣の石材屋さんに、「しまさきバス通り」
は反対隣の駐車場名に由来しています(パクリ?)。
地域にうちとけた診療所であり、そして重症例は
適切な医療機関へ紹介できる体制を整えたいと存
じます。青磁野リハビリテーション病院をはじめ、
近隣の福祉・医療機関と末永くアソシエーション
できれば幸甚に存じます。

皆様、よろしくお願ひ申し上げます。

診療日・診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○		○	

日祝休診

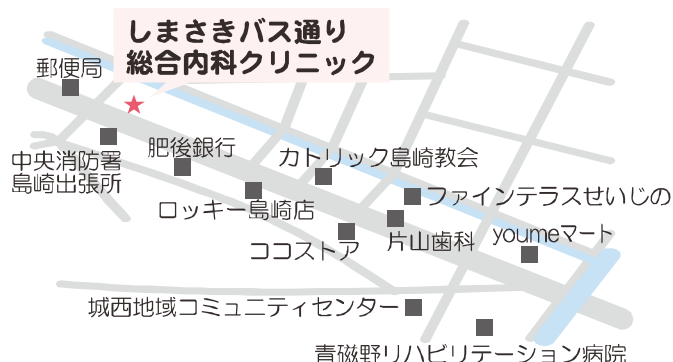
【午前】7:00~12:30 【午後】2:00~6:00

診療科目

内科、糖尿病内科、小児科、心療内科

所在地

熊本市西区島崎2-8-20 TEL 096-288-4149



外来診療担当表

平成25年4月～

《受付時間》 午前／8:30~12:00
午後／13:30~17:00

《診療時間》 午前／9:00~12:00
午後／14:00~17:00

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	金澤知	金澤知	石本	金澤知	竹内	第1-3-5 今村
		石本	堀岡	岩本	岩岡	金澤尚	第2-4 菊川
	午後	岩岡	上野	金澤尚	佐々木	安野	—
		上野	竹内	堀岡	佐々木	高木	後藤
整形外科	午前	金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	—
	午前 (リハ室)	徳安	徳安	徳安	徳安	徳安	—
	午後	予約制					—

金澤会のデータ

(平成25年度上期)

病院診療情報

・外来患者延数	18,923人(1日平均126.2人)
・延べ入院患者数	39,027人(1日平均213.3人)
・新入院患者数	339人
・退院患者数	350人
・平均在院日数(一般病棟)	17日

金澤会職員総数(平成26年1月1日現在)

常勤職員	418人
パート職員	124人
合計	542人

●青磁野リハビリテーション病院 患者憲章●

患者様には次の権利があります。

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 医療に関する説明や情報を知る権利
3. 選択の自由と自己決定の権利
4. 個人の情報が守られる権利
5. 尊厳を守られる権利

せいじの143号 平成26年2月

発行人●医療法人金澤会

発行人●金澤 知徳

編集●青磁野リハビリテーション病院 総務課

〒860-8515 熊本市西区島崎2丁目22-15

TEL096-354-1731 FAX096-354-1736

http://www.seijino.or.jp/



日本医療機能評価機構
認定番号C1194号
平成23年12月更新